

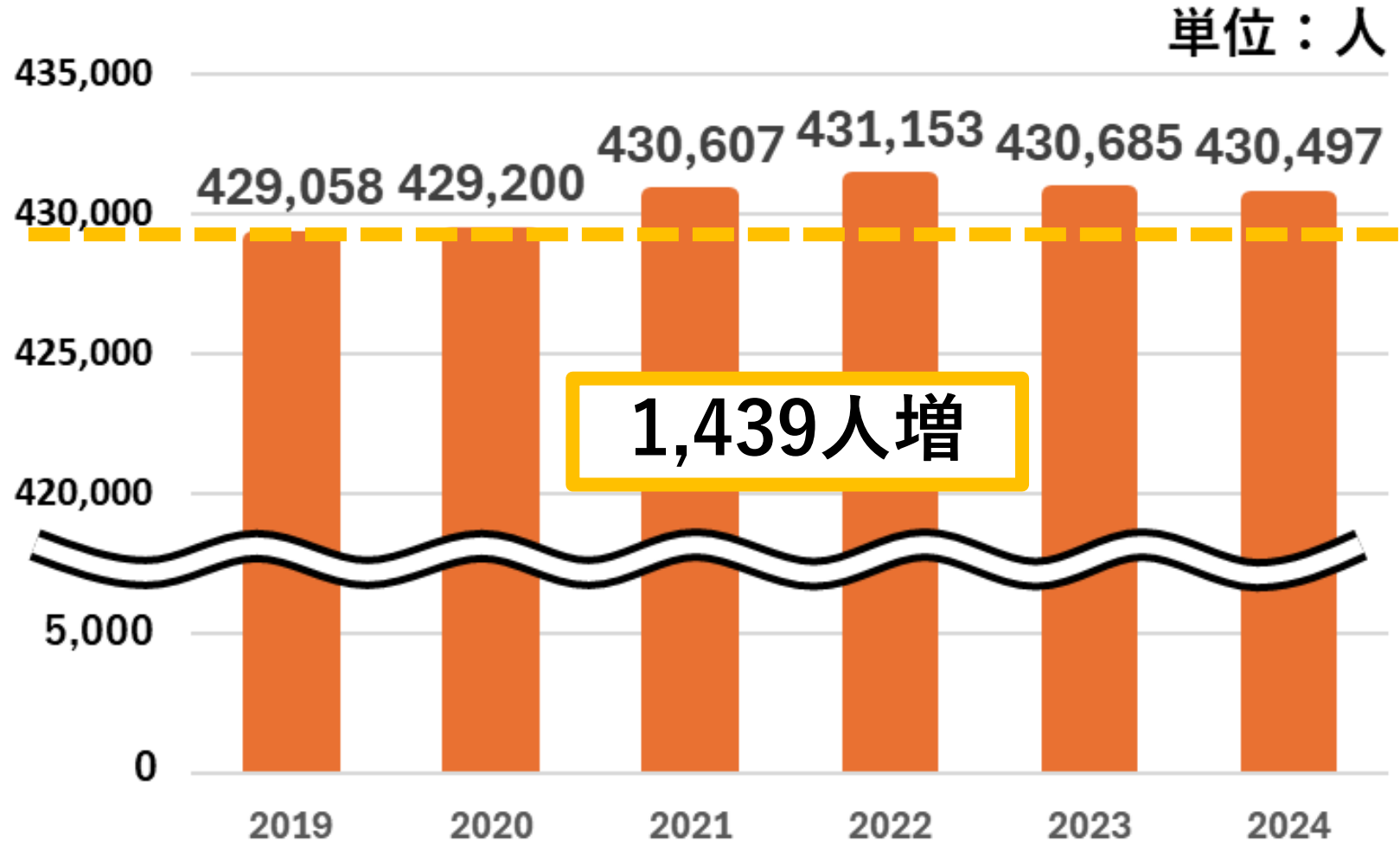
資料 3

全体目標1の修正 に向けたごみ量の傾向

■人口の推移

●10月1日時点の人口推移

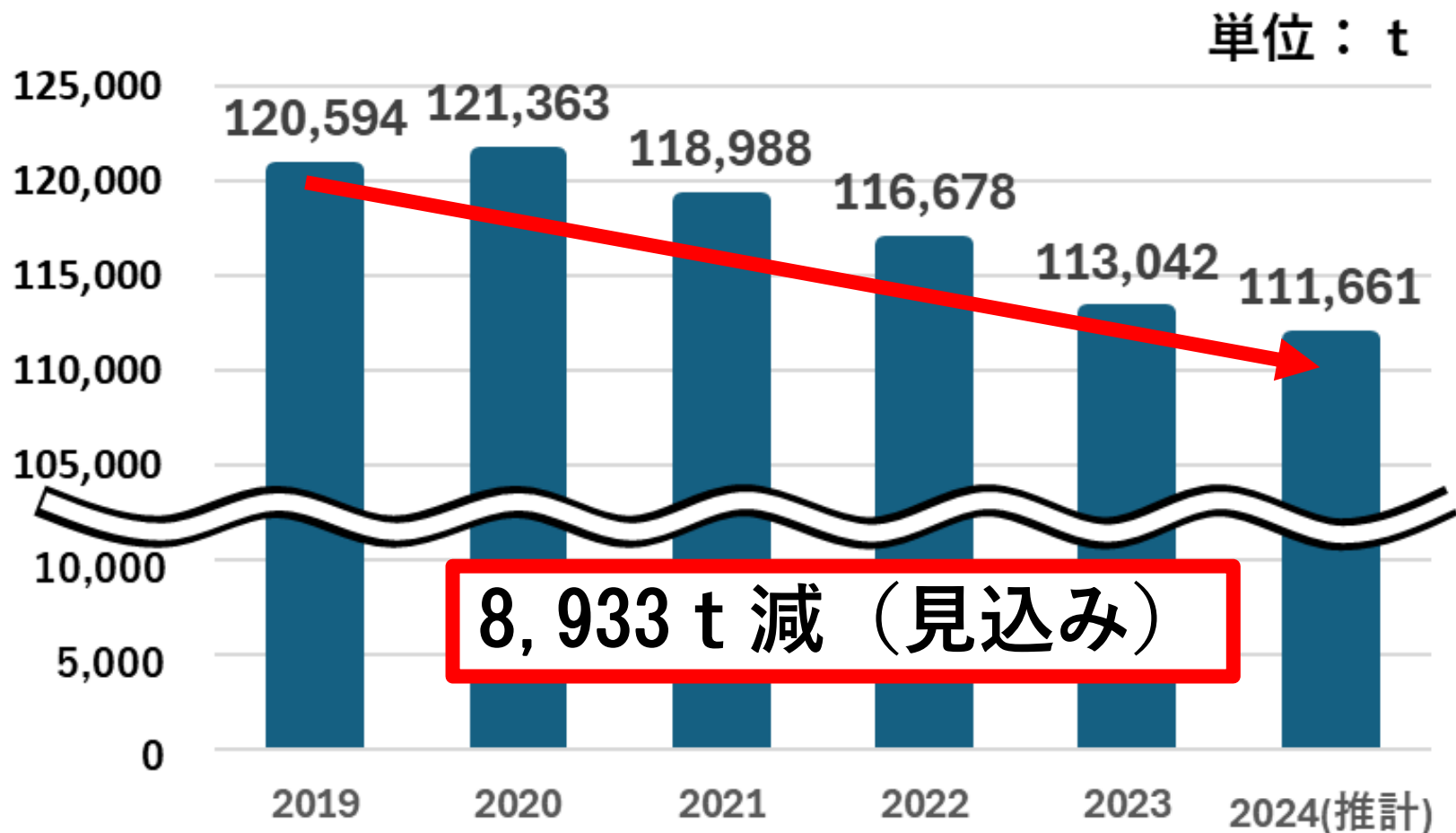
- 2019年度から1,439人増加している。
- 2022年度をピークに、減少傾向にある。



■ ごみ量の推移①

- 総ごみ量（家庭ごみ・事業ごみ・資源の合計）の推移

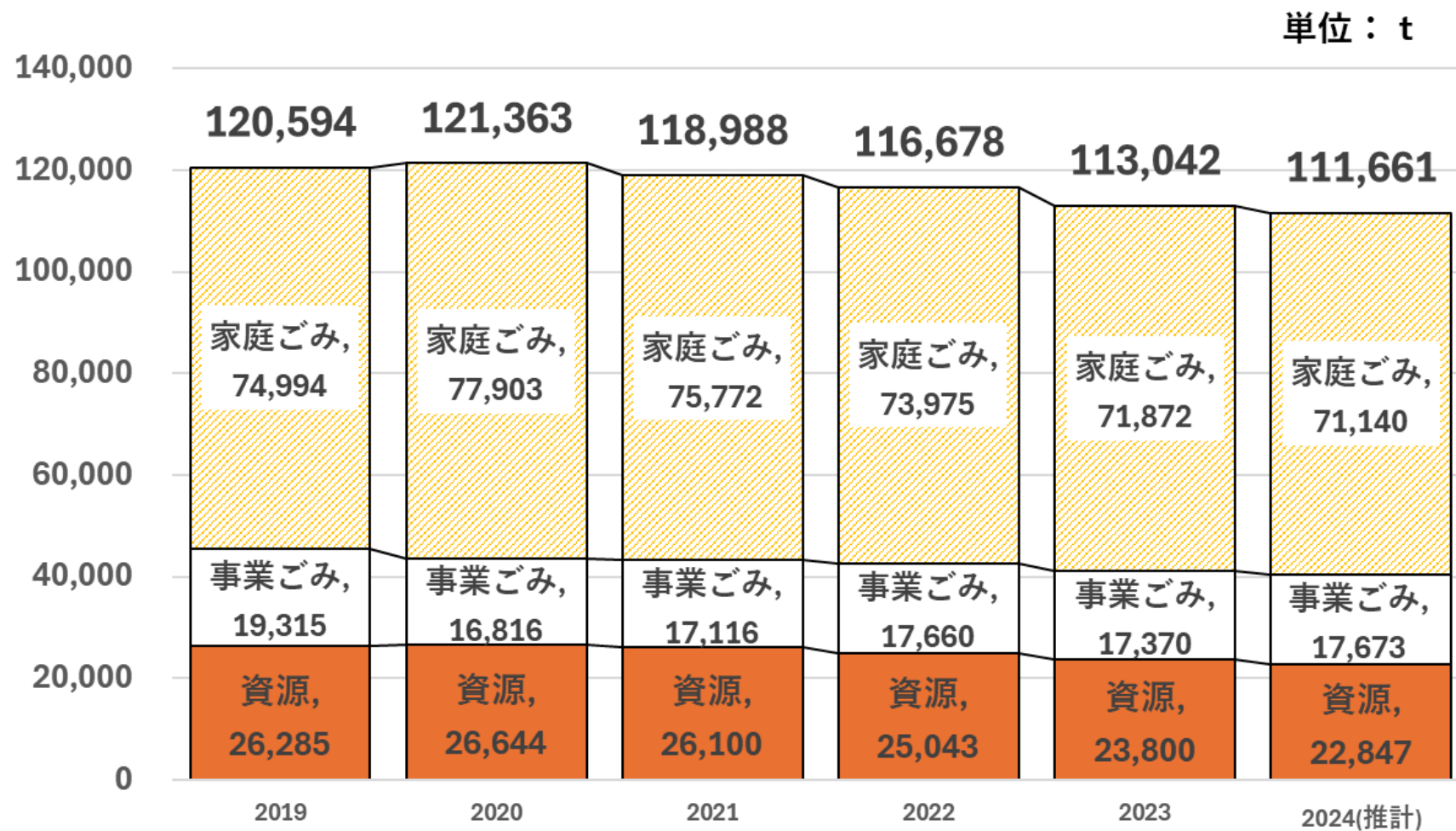
➤ 2020年度をピークに、減少傾向にある。



■ ごみ量の推移②

● 家庭ごみ・事業ごみ・資源の推移

➤ 2024年度の家庭ごみ・事業ごみは、前年度からほぼ横ばいとなる見込み。

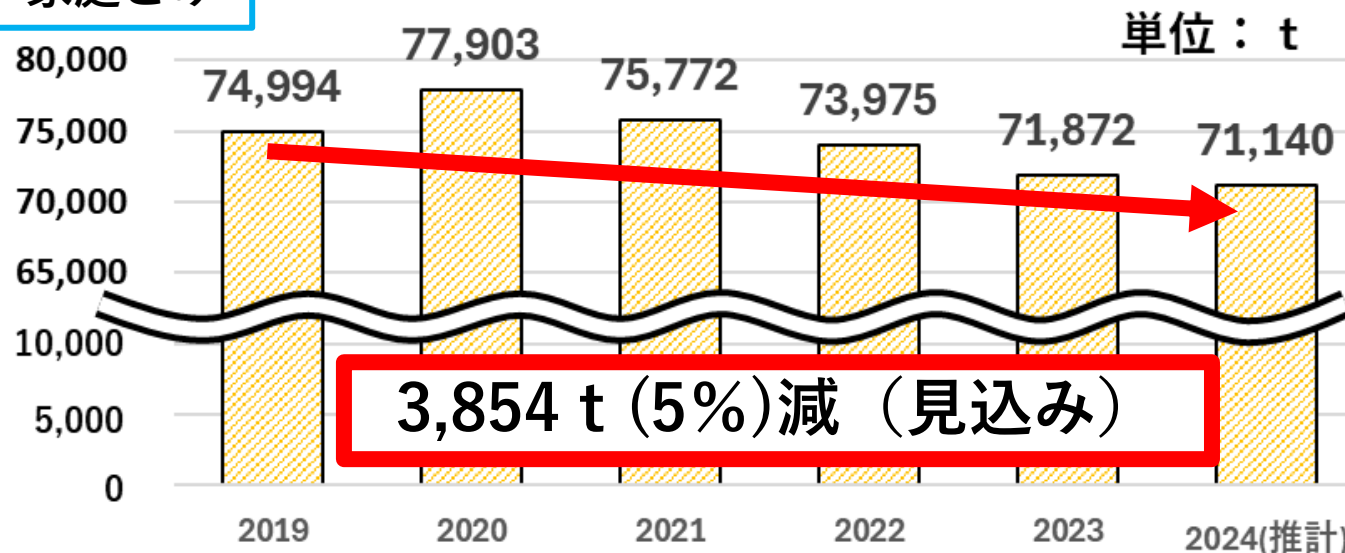


■ ごみ量の推移③

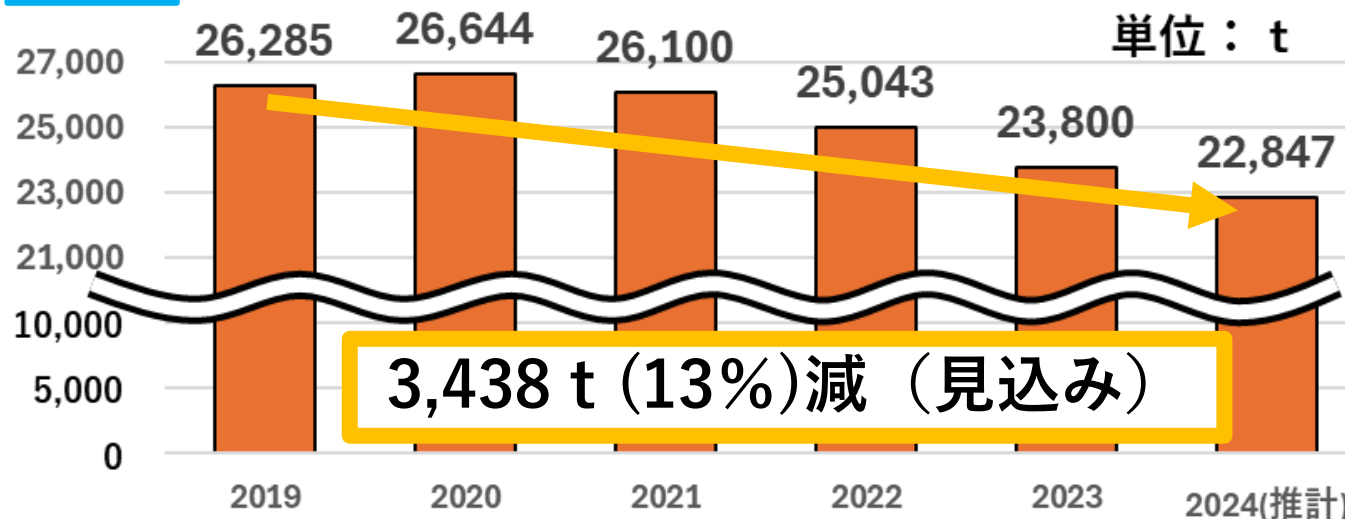
● 家庭ごみ・資源の推移

➤ 家庭ごみも減少しているが、資源の減少率が大きいため、資源化率が上がらない状況。

家庭ごみ



資源



■ ごみ種ごとの削減目標と実績

- 計画上、家庭ごみは4つのごみ種（生ごみ・容器包装プラスチック（容プラ）・古紙・その他）について削減・資源化目標を設定している。（2019年度比）

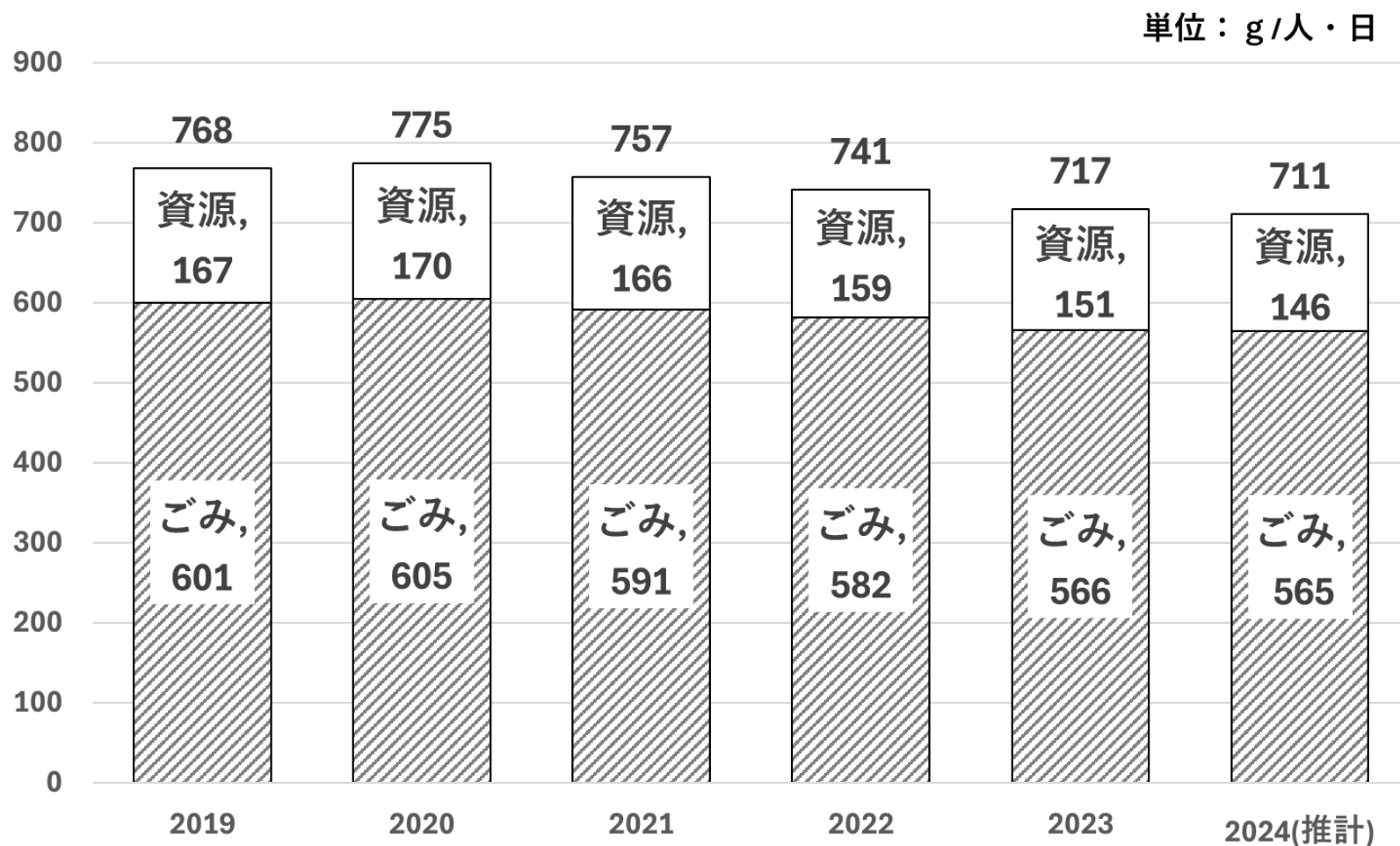
- 容器包装プラスチック及び古紙の削減・資源化が進んでいない状況。

		2019(実績)	2030(目標)		2023(実績)		実績と目標の差
		排出量	排出量	削減/資源化量	排出量	削減/資源化量	削減・資源化量
生ごみ	削減	22,457	18,457	4,000	20,067	2,390	1,610
容プラ	削減	13,162	7,162	2,000	12,937	225	1,775
	資源化			4,000		0	4,000
古紙	資源化	3,764	2,764	1,000	4,549	▲785	1,785
その他	削減	35,611	32,111	3,500	34,319	1,292	2,208
事業ごみ	削減	19,315	17,315	2,000	17,370	1,945	55

※「削減・資源化量」は、2019年度を基準としたもの

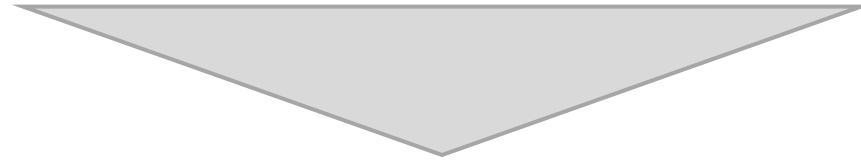
■ 1人1日あたりのごみ排出量

➤2019年度と比較すると、人口が増加し、総ごみ量が減少。結果、ごみ種ごとの削減目標は達成していないが、1人1日あたりのごみ排出量は2030年度の目標値（714g/人・日）を達成する見込み。



■今後の予定

- 近年の傾向を反映したごみ量推計を作成します。
- 近隣や同規模自治体のごみ量等の傾向を調査します。
- 全体目標1の上方修正に向けて、ごみ種ごとの削減・資源化目標の検討を行います。



- 第3回審議会（7月）で案を提示する予定です。